

年 表 1

1948.6—1975.3

年代	埼 玉 県	全 国
1948 (昭和23)		6.29 学術研究会議(現在の日本学術会議)特別委員会の一つとして、近世庶民史料調査委員会発足。
1951 (昭和26)		5.30 文部省史料館設置(1972年、国文学研究資料館史料館・通称国立史料館へと改組)。
1952 (昭和27)	4. — 埼玉県地方史研究会が地方史研究協議会埼玉大会を機に発足。初代会長森末義彰氏。[『埼玉研究』創刊号]	
1959 (昭和34)		4. 1 山口県文書館設置(都道府県で最初の文書館。翌年4月1日より業務開始)。 11.28 日本学術会議、「公文書散逸防止について(勧告)」を政府に提出。
1960 (昭和35)	1. — 中世文書所在調査実施。[1,2] 10. — 『埼玉県古文書所在目録』刊行。[1]	
1963 (昭和38)	11.20 埼玉県総合振興計画(第1次)に「文書館」がうたわれる。[5] 11. — 浦和で第1回近世史料講習会開催(14・21・28日)。 12. 2 「県下における古文書古記録の調査及刊行について」請願・陳情。12月定例県議会で採択。[6,埼玉県議会会議録]	5.27 日本図書館協会に「郷土の資料委員会」設置。 10. 1 京都府立総合資料館設置(11月15日開館)。
1964 (昭和39)		10. 頃〜「日本史資料センター」問題おきる。
1965 (昭和40)	3. — 『埼玉の中世文書』刊行。[2] 3. — 『秩父郡上名栗村町田家文書目録Ⅰ』(近世史料所在調査報告1,4分冊、~41年)刊行。[3] 10.27 「県教育史資料展」「埼玉の中世文書展」開催(~31日)(於:県立図書館)。 <small>[同展出品目録]</small> 12. 1 埼玉県図書館協会・埼玉県地域研究会等、「埼玉県沿革史料の保存及施設建設について」を請願・陳情。12月定例県議会で採択。[7,埼玉県議会会議録]	5.14 財団法人三井文庫設置。
1966 (昭和41)	8. — 県立図書館で文書館の性格・事務内容・施設・機構等の試案を作成、検討を開始。[9,文献3] 9. — 埼玉県総合振興計画修正に伴う主要事業計画として「文書館の建設」を提出。[10,文献3] 10. — 県企画部事務管理課が「文書事務の管理改善に関する報告書」で、歴史的価値ある文書の県立図書館移管を指摘。[11] 11.20 埼玉県図書館協会、「埼玉県文書館建設について」請願・陳情。12月定例県議会で採択。[12,埼玉県議会会議録] 12. 1 埼玉県郷土文化会・埼玉県地域研究会等、「埼玉県文書館の建設について」請願。12月定例県議会で採択。[13,埼玉県議会会議録]	5.18 日本図書館協会公共図書館研究集会「公共図書館と文書館制度について」開催(~20日)(於:山口市)。 <small>[8]</small>
1967 (昭和42)	3.14 文書館建設費2,785万円を県議会在議決。[14,埼玉県議会会議録] 3.25 『大里郡甲山村根岸家文書目録』(近世史料所在調査報告2)の刊行。 8.22 大成正雄議員、9月定例県議会で文書館建設と博物館設置の兼ね合いについて質問。[21-5,埼玉県議会会議録]	6.1 日本歴史学協会日本史資料センター問題特別委員会「日本史資料の保存・整理・利用・サービスについての構想案(42年度第1次案)」作成。

年 表 1

年代	埼 玉 県	全 国
1967 (昭和42)	<p>9. 2 文書館建設費補正予算3,688万円と初度調弁費500万円を県議会が議決(総計6,973万円)。[15、埼玉県議会会議録]</p> <p>9. 4 「行政文書管理委任要領」が成立し、知事、教育長に県立図書館への文書管理委任を協議。[49]</p> <p>10. 2 県教育局企画委員会に文書館建設専門部会を組織。[17]</p>	
1968 (昭和43)	<p>1.20 『石川正西聞見集』(埼玉県史料集第1集)刊行。[4]</p> <p>3.25 『人間郡平山村平山家文書目録』(近世史料所在調査報告3)刊行。</p> <p>3. 一 県土木部管轄課において建築設計完了。[25]</p> <p>5.10 建設工事入札。[25]</p> <p>6. 1 建設主体工事(県立図書館増築)着工。[25]</p> <p>12.16 行政文書の管理委託事務につき、文書学事課と図書館による打合せ。[46]</p>	<p>1. 一 国立公文書館の建設基本設計確定(10月着工、1971年3月完成)。</p> <p>10. 1 東京都公文書館設置。</p>
1969 (昭和44)	<p>2.19 明治・大正期行政文書を図書館に一時保管引継。[47]</p> <p>2.28 建設工事竣工(地下1階地上3階 1,322.5㎡)。[25]</p> <p>3.25 『児玉郡本庄宿諸井家文書目録』(近世史料所在調査報告4)刊行。</p> <p>3.30 『埼玉の算字』(埼玉県史料集第2集)刊行。</p> <p>3.31 「埼玉県立図書館規程の一部を改正する規則」公布(4.1施行)。「第3節 文書館」を設ける。[30]</p> <p>4. 1 文書館設置(県立図書館文書課-職員7名 文書課長、古文書係3名、行政文書係3名)。[日誌]</p> <p>4. 2 「文書館日誌」の様式決定。[35]</p> <p>4. 2 昭和初期～33年の行政文書、一時保管引継。[48]</p> <p>4. 3 廃棄有期限行政文書中の歴史的価値のある資料の選定・搬入(件数約300点。以降随時実施)。[日誌]</p> <p>4.12 県報・官報搬入。[日誌]</p> <p>4.22 利用証等の様式決定。[36]</p> <p>5.10 文書館落成記念「埼玉の文書展」開催(～15日)。[日誌、23、73]</p> <p>5.15 『熊谷蓮生坊文書』刊行。</p> <p>5.19 文書館落成式挙行。[23～29]</p> <p>記念講演会「史料から見た郷土埼玉」(森末義彰氏)開催。[23、本誌講演原稿]</p> <p>5.21 記念座談会「史料保存と文書館のあり方」開催。[23、日誌]</p> <p>6.10 古文書寄託開始(伊奈村加藤家文書、寄託申請書受理)。[同申請書]</p> <p>6. 3 閲覧業務開始。[日誌]</p> <p>6.17 県総務部文書学事課との第1種行政文書管理委任協議成立。[50]</p> <p>6.18 文書所在調査員(12名)委嘱状交付式及び座談会実施。[43、日誌]</p> <p>7. 7 「埼玉県立図書館処務細則」の一部改正を教育長が決裁。文書館(文書課)の係事務分掌が定められる。[31]</p> <p>7. 9 「文書の寄贈及び委託」の手續・様式を決定。[33]</p> <p>7.10 県立図書館長と文書学事課長で、「行政文書管理に関する覚書」を交換。[51]</p> <p>7.24 文書館による最初の近世史料講習会開催(～25日、於:県立図書館、通算第7回)。[74]</p> <p>9.26 秋季特別図書整理期間(～10月4日 以降毎年春季・秋季実施)。[日誌]</p> <p>12.15 『埼玉県行政文書総目録』第1集刊行。[68]</p>	<p>10.23 日本学術会議、「歴史資料保存法の制定について(勧告)」を採択し、11月1日政府へ提出。</p>
1970 (昭和45)	<p>2.10 『熊谷家文書』(埼玉県史料集第3集)刊行。</p> <p>2.21 「埼玉の教育文書展—明治前期—」開催(～27日)。[同展览展示目録]</p> <p>3.25 『加藤・藤井・稲生家文書目録』(近世史料所在調査報告5)刊行。</p> <p>4. 1 埼玉県立図書館、埼玉県立浦和図書館と改称。[埼玉県報]</p> <p>5. 1 「埼玉県文書規程」を一部改正、県立浦和図書館への管理委託を規定。[52]</p> <p>7. 1 秩父郡大滝村で、文書調査員による夏季文書一斉調査実施(～2日 以降毎年定例化)。[日誌]</p>	<p>7.31 福島県歴史資料館設置(9月1日開館)。</p>

特集・文書館の30年

年代	埼 玉 県	全 国
1970 (昭和45)	<p>9.13 『埼玉県行政文書件名目録 産業編』刊行。[70]</p> <p>9.30 『飯野喜四郎伝』刊行。</p> <p>9. - 行政文書洋製本開始。[69]</p> <p>10. 6 埼玉会館と共催で「埼玉の古文書展」開催。中世文書54点を展示(～11.8)。[同展览展示目録]</p> <p>10.10 「埼玉県教育史資料展」開催。県教育史編さん関係資料を展示。[同展览展示目録]</p> <p>10.17 地方史研究協議会1970年度大会を受け入れ(～19日 於:埼玉会館他)[76、日誌、文献12、14]</p>	
1971 (昭和46)	<p>3.20 『会田・相沢家文書目録』(近世史料所在調査報告6)刊行。</p> <p>3.31 『会田落穂集』(埼玉県史料集第4集)刊行。</p> <p>4. 1 職員1名増員。[日誌]</p> <p>4.30 「埼玉県教育局等文書規程」制定。(5月1日施行)[埼玉県報]</p>	<p>1. 5 ジャン・ファヴィエ著・永尾信之訳「文書館」(白水社)刊行。</p> <p>4.15 外務省外交史料館開館。</p> <p>7. 1 国立公文書館設置。</p>
1972 (昭和47)	<p>1.20 『中山道熊谷駅定助郷古今趣旨書留』(埼玉県史料集第5集)刊行。</p> <p>2.15 『埼玉県行政文書件名目録 県治編Ⅰ』刊行。</p> <p>3. 1 『文書館報』創刊号刊行。[77]</p> <p>3.25 『野中家・新井家文書目録』(近世史料所在調査報告7)刊行。</p> <p>6.17 埼玉県市町村史誌編さん状況調査実施。[文書館報2]</p> <p>6. - 貴重文庫書庫を設置。[日誌]</p> <p>9.29 県立図書館50周年記念文書展「埼玉の交通文書展－近世－」開催(～10月3日)。[57、日誌、同展览展示目録]</p> <p>10.30 『諸家文書目録Ⅰ』(近世史料所在調査報告8)刊行。</p> <p>12. 9 開館以来の文書寄贈者に感謝状及び記念品贈呈。[日誌、57]</p> <p>12.10 『埼玉県行政文書件名目録 県治編Ⅱ』刊行。</p> <p>12. - 学校沿革史誌編さん状況調査実施。[64]</p>	<p>4. - 神奈川県立文化資料館設置(8月16日開館。1993年県立公文書館に業務を引き継ぎ閉館)。</p> <p>8. - 国立公文書館のICA加盟承認される。</p>
1973 (昭和48)	<p>2.13 「行政文書管理委任要領」の一部改正施行。[53]</p> <p>3.20 『諸国寺社朱印状集成』(埼玉県史料集第6集)刊行。</p> <p>5. 1 県立浦和図書館長と文書課長の間で、「行政文書管理に関する協議書」を交換。[54]</p> <p>5. 1 「文書等の撮影・複写に関する心得」施行。[34]</p> <p>6. 1 「埼玉の用水文書展－近世－」開催(～5日)。[同展览展示目録]</p> <p>6.11 古文書緊急調査開始(3年継続事業、後1年延長)。[63]</p> <p>8.20 埼玉県地方史研究会、「文書館の独立と拡張」について請願。9月定例県議会で採択。[県議会会議録]</p> <p>11. 1 部課制施行により、県立図書館文書部(古文書課・行政文書課)となる。[58]</p> <p>11.13 「埼玉の古絵図展」開催(～18日)。[同展览展示目録]</p> <p>12.28 『白石家・浅見家文書目録』(近世史料所在調査報告9)刊行。</p>	<p>4. 1 茨城県歴史館設置(1974年9月3日開館)。</p>
1974 (昭和49)	<p>3. 2 当館において歴史資料保存利用機関関係者第1回懇談会開催。(～3日)。</p> <p>3.20 『埼玉県行政文書件名目録 県治編Ⅲ』刊行。</p> <p>5.23 埼玉県市町村史編さん連絡協議会結成準備会開催(於:大宮市史編さん室)。[78、79]</p> <p>9.27 埼玉県市町村史編さん連絡協議会結成。[78～81、日誌]</p> <p>11.13 「埼玉の交通文書展－近代－」開催(～17日)。[同展览展示目録]</p>	<p>7. 1 神奈川県藤沢市文書館設置。</p>
1975 (昭和50)	<p>2. 4 文書館管理規則案、教育局総務課へ提出。[日誌]</p> <p>2. 6 文書館設置条例について教育委員会議決。[日誌]</p> <p>3.29 「埼玉県立文書館条例」公布。[埼玉県報]</p> <p>3.29 「埼玉県立文書館管理規則」公布。[埼玉県報]</p> <p>3.29 当館において歴史資料保存利用機関連絡協議会設立第1回準備委員会開催。</p>	<p>1.10 兵庫県尼崎市立地域研究史料館開館。</p> <p>2.26 学習院大学史料館設置。</p>